

2026年8月26日



中野区長定例記者会見資料

- 1 中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（骨子）について
- 2 止水板設置等助成事業の実施について
- 3 健康経営の取り組みについて

I - ① 中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（骨子）について

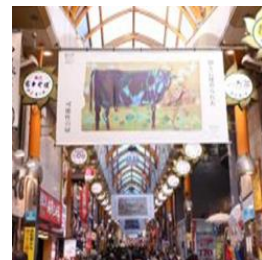
「中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画」の改定に向けた現在の検討状況は、以下のとおりです。

▼「中野らしさ」と継承すべき価値

多様な世代や属性の人々が交流し、音楽文化、サブカルチャーやアニメ文化などの多様な文化・芸術活動を通して、独自の魅力を育んできた中野らしさを未来につなぐ

▼3つの計画コンセプト

- 1 地域を**つなぎ**、多様な交流とにぎわいをつくる
- 2 これまでの価値を**つなぎ**、新たな魅力と文化をつくる
- 3 人とみどりを**つなぎ**、歩いて楽しく安全な都市空間をつくる



【問合せ】 まちづくり推進部 中野駅周辺まちづくり課長 近江 電話番号 03-3228-8970

Ⅰ-② 中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（骨子）について

▼導入する機能や空間の構成

文化・集客機能（ホール）

- ・ポピュラー音楽公演を中心に演劇、式典などに幅広く対応できるホール

※ 3,000人規模を基本に、
2,500～5,000人規模の集客を想定

- ・興行の有無に関わらず、誰もが立ち寄り、憩い、交流できる空間



回遊・空間構造

- ・中野駅周辺における他地区のまちづくりと連携して駅周辺の回遊性を向上させることで、歩くこと自体が楽しい空間を実現
- ・子どもをはじめ地域の人々が日常・イベント利用から災害時まで、幅広く利用できる広場空間

オフィス、商業・滞在、交流、住居

- ・アニメ関連企業等の集積やスタートアップ企業の活動を支える機能
- ・ホテル・バンケットのほか、子どもの遊び場など、誰もが利用しやすい商業・滞在・交流施設
- ・住宅は 1,100戸（延床面積の 5割）を上限の目安

環境性・防災性

- ・建築物のZEB・ZEH化や省エネ性能の高い設備の導入、再生エネルギーの活用や緑化による熱環境の緩和
- ・帰宅困難者対応、災害時の情報収集・発信など、地域の防災力を向上させる空間形成



I - ③ 中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画（骨子）について

▼再整備の実現に向けた事業手法

- ・ 建設費・人件費の高騰や社会情勢の変化への対応
- ・ 駅前の貴重な区有資産を将来世代へ引き継ぐ

定期借地権を活用した
市街地再開発事業を基本とする

▼今後の予定

- | | | |
|-------|-----|---------------------|
| 2026年 | 9月 | 第1回有識者会議の開催 |
| | 10月 | 再整備事業計画（素案）の策定 |
| | 11月 | 意見交換会の開催 |
| | 12月 | 再整備事業計画（案）の策定 |
| 2027年 | 1月 | 意見交換会、パブリック・コメントの実施 |
| | 2月 | 再整備事業計画の改定 |

敷地全体

①土地として保有し
定期借地権を設定

土地として保有した上で
定期借地により民間活用

柔軟な土地活用

②権利床として
資産保有

区民サービスや区の価値の
向上が期待できる
施設・機能
(バンケットや子育て関連施設)

機能の確実な実現



2-① 止水板設置等助成事業の実施について

近年、短時間で大量の雨が降る豪雨が増え、住宅や店舗への浸水被害が発生しています。

区ではこれまで、水防倉庫等に誰でも自由に利用できる土のうを配備するなど、浸水被害の軽減に取り組んできましたが、更なる浸水対策を進めるため、新たに止水板の設置工事・購入費用の一部を助成します。

▼止水板とは

建築物に水が浸入することを防止するために当該出入り口に設置するものです。

▼現在の浸水被害に対する区の実施

土のう配備箇所	区内 35 か所
土のう貯蓄数	13,280 袋

▼助成対象となる事業

- ①止水板の設置にかかる工事費用(関連工事含む)
- ②簡易型止水板の購入費用

▶ 止水板のイメージ

設置型止水板



簡易型止水板



▶ 過去 10 年間の浸水被害

37 世帯
(延べ床上 42 件、床下 7 件 合計 49 件)

【問合せ】 都市基盤部 道路管理課長 長沼 電話番号 03-3228-5592

2 - ② 止水板設置等助成事業の実施について

▼対象者 ※助成は1つの建物につき1回限り

- ▶ 中野区内にお住まいの方
- ▶ 区内に店舗や事務所をお持ちの法人
- ▶ 区内マンションの管理組合

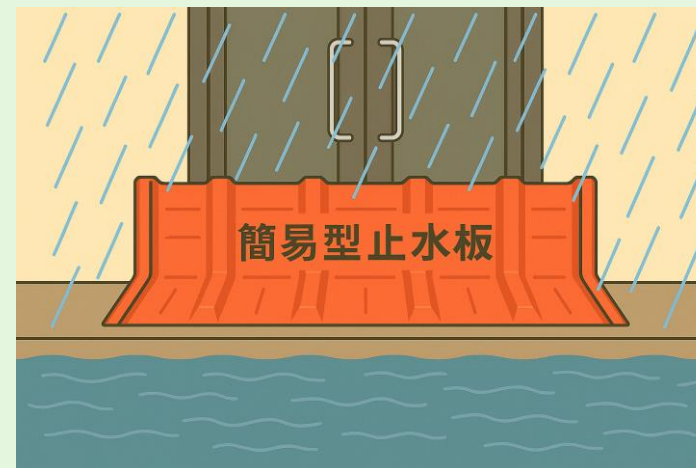
▼助成額

- ▶ 工事費用の1/2補助(上限100万円)



設置型止水板(工事を伴うタイプ)

- ▶ 購入費用の1/2補助(上限15万円)



簡易型止水板(工事不要・置くだけタイプ)

3 - ① 健康経営の取組について

「職員の健康」×「いきいきと働ける環境づくり」＝「区民サービスの向上」

区は、職員の健康を重要な経営資源と考え、「健康経営」を推進します。
職員の満足（ES）と活力を高めることで、区民満足（CS）の向上につなげ、より質の高い区民サービスを実現します。これに向けて、健康経営宣言を行いました。

▼健康経営の目的

- 区政推進力の強化
職員の健康増進と組織パフォーマンスの向上の両立、区民サービスの向上
- 健康情報の発信基地として、選ばれる自治体へ
持続可能な行政運営の実現、区民や区内事業者への展開（区民へのメリットにつなげる）

▼健康経営宣言

中野区基本構想で描く目指すまちの姿「つながる はじまる なかの」の実現のため、職員の健康保持・増進を図るとともに、いきいきと働ける環境づくりを推進し、ES(職員の満足)をCS(区民の満足)へ、職員の活力をより良い区民サービスへとつなげるよう、組織をあげて健康経営の推進に取り組むことを宣言します。

2026年8月 中野区長 酒井直人

3 - ② 健康経営の取組について

「こころとからだの健康づくり」と「働きやすい職場環境づくり」を**基本方針**とし、これを実現するため、以下の**4**つを**重点テーマ**として施策を展開します。

また、健康経営の現状を客観的に把握し、継続的な改善につなげるため、健康経営優良法人の認定を目指します。

▼重点テーマ

① 身体の健康課題への対応

睡眠や食事など生活習慣の改善や運動習慣の定着等を通じた、健康保持・増進

- ▶ 健康経営セミナーの開催、健康チェック拠点の整備(体組成計や血圧計等の設置)

② メンタルヘルス対策

ストレスチェックや相談体制の充実等を通じた、心の健康保持・増進

- ▶ 新規採用職員や昇任者に対するメンタルヘルス面談の実施

③ 女性の健康課題への対応

痩せ、月経、更年期など女性特有の健康課題への理解促進や支援を通じた、誰もが安心していきいきと活躍できる職場づくりの推進

- ▶ 女性特有の健康課題セミナー・測定会・個別相談会の実施

④ 安心して働ける職場づくり

多様な働き方の推進や時間外勤務の削減、休暇取得の促進等による、安心して働き続けられる環境整備